

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		横浜市中部地域療育センター児童発達支援センター					公表日		年		月		日			
							利用児童数		120				回収数		73	
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見						ご意見を踏まえた対応			
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	61	6	4	2	工夫はされているが狭いと感じる。子ども同士がぶつかりそうになることがある。十分ある。						タオル掛けの設置を2個に分けて子どもたちが分散できるように対応。1月より実施。			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	64	7	0	2	プールの日が少ない。十分いる。自由遊びの場にもう少し職員がいてほしい。子ども2人に職員 1 人いるとよい。									
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	64	9	0	0	子どもたちにわかりやすく安全。本を本棚へ並べられないか。部屋の移動でトイレを通るのに抵抗がある。						部屋移動は保護者に説明し、廊下を通るように1月より変更。子どもの様子によって保護者選択できるようにする。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	54	13	4	2	ゴミが落ちている。おむつ替えスペースが衛生的でない。きれいにしている。土足の範囲が曖昧。						丁寧な清掃を心がける 靴の履き替えが気になる方には上履きの持参をお願いする。1月より実施。			
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	63	9	0	1	保護者の意向を踏まえ適切に支援。保護者の意向の反映不十分。子どもへの関わり少ない。感情的な場面あり。						保護者の意向をアンケートや面談等で丁寧に聞き取り反映する。			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	64	6	0	3	合っている。									
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されていると思いますか。	67	4	0	2	詳しい資料の作成がある。									
	8	個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	62	7	1	3	自分の子に必要なこともある。目標の量（種類）を増やしてほしい。親子登園は共働き家庭には負担。									
	9	個別支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	68	3	0	2	面談で支援が理解できた。元気に過ごした程度の報告になり不安もあった。									
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	63	8	0	2	遠足は振替がほしかった。						体制的な要因も含まれ遠足の振替設定は難しい状況。			
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	48	7	13	5	年 1 回の交流は少ないと感じる。就園先と連携取ってもらった。						第 1 ・ 3 通園は並行通園児がほとんどのため実施なし。第 2 通園は他行事との兼ね合いで回数増は難しい状況。			
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	69	1	2	1	わかりやすい資料で説明してくれる。クラススタート前に説明があるとよい。						クラス開始前には重要事項説明会で説明し、具体的なプログラム内容はクラスの状況踏まえクラス開始後で説明。			
	13	「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	71	0	0	2										
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	65	3	1	4	充分に実施。学ばよい機会になっている学校以降が心配。勉強会の動画配信ができないか。						家族支援プログラムは、勉強会・懇談会・面談を実施。将来、ZOOMを取り入れた勉強会開催ができるように。			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	61	9	1	2	細かく見てもらえている。共通理解ができている。相談しやすい。職員と話す時間があまりない。									
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	67	6	0	0	できることは褒めてくれるが苦手なことへのアドバイスが少ない。						できることを最大限活かしながら苦手な点へのサポートも保護者と共有していく。			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	60	8	2	3	子どもに対しては適切に支援。家族に対しては気軽に相談できない。SWと話す機会がほしい。						SWと話をする機会を作れるよう支援する。			
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	28	18	13	14	保護者同士の交流はできているがきょうだい同士の交流の機会はない。きょうだい児の預かりサポートを拡充してほしい。						弟妹預かりサポートを実施できるようにする（令和7年度中に実施予定）			
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	54	9	3	7	真剣に考えてくれて相談しやすい。子どもの見守りが必要で相談しにくい。子どもに合った食形態の変更にすぐにはできない。						給食の食形態などは医師や専門スタッフと情報共有し迅速に対応できるようにする。			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	65	3	1	4		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	45	13	6	9	ホームページに載せなくてもいいのでは ないか	通信は直接配布させていただいていま す。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	69	0	1	3	個人情報守りすぎでクラスの子の名前も わからない。	
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	59	3	4	7	感染症対策の事前説明あったが風邪症状 があっても受け入れている。	重要事項説明会や入園オリエンテーショ ンで健康状況の留意について丁寧に説明 する。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	63	1	1	8		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	61	4	0	8		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	55	4	1	13	シャトルバスで軽微なケガあった時に対 応不十分。	今後も園バス・シャトルバスは委託会社 と中部センターで事実確認して対応を行 う。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	73	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	63	7	2	1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	57	13	1	2		